

## 外国語・2年 英語表現（国際人文科） シラバス

|      |       |    |     |    |
|------|-------|----|-----|----|
| 科目名  | 対象学科  | 学年 | 単位数 | 履修 |
| 英語表現 | 国際人文科 | 2年 | 2単位 | 必修 |

### 1.英語表現の目標及び概要

(1)英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を一層伸ばす。

### 2.英語表現の到達目標

- (1)与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。
- (2)読み手や目的に応じて、簡潔に書く。
- (3)聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。
- (4)英語表現Ⅰでは、最終的に400Wordsレベルのエッセイを書くために必要不可欠なライティング力及び文法の基礎力を身につける。

### 3.成績評価の方法

- (1)定期考査 70%（中間・期末考査）
- (2)小テスト 10%（確認問題・文法テスト）
- (3)授業・提出物 20%（授業参加度・発表・ワークブック・課題）

### 4.使用教材

- (1)教科書名： DUALSCOPEⅠ（数研出版）
- (2)副読本： DUALSCOPEⅠワークブック（数研出版）

### 5.学習方法

- (1)授業：教科書を中心に、重要構文・文法事項の説明を行い、聞き取りや発表の練習、課題文の作成を行う。  
：内容理解を深めるために、グラマーノートや確認問題を解いたり、文法テストを行う。
- (2)復習：教科書やプリント、グラマーノートを見直し、学んだ事を整理する。

### 6.授業の展開と形態

- (1)1クラス2展開の少人数でALTとのTTを行う。

### 7.履修上の注意点

- (1)A4ファイルを用意し、配布されたプリントや課題を確実に綴ること。
- (2)基本例文を暗記すること。
- (3)自分の英文が正しくても、他の模範解答を謙虚に学習すること。
- (4)与えられた課題を期限内に提出すること。

### 評価の観点の趣旨

| 1.関心・意欲・態度   | 2.表現の能力   | 3.理解の能力   | 4.知識・理解   |
|--|---|---|---|
| コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加することで自己を表現したり、他者とのコミュニケーションを図ろうと努力しているか。 | さまざまな話題やテーマについて、情報や考えなど、相手に伝えようとする内容を、英語で話したり書いたりして、適切に表現することができるか。 | 表現の基礎となる文法事項を理解し、さまざまな話題やテーマについて、英語を読んだり聞いたりして、情報や考えなどを理解することができるか。 | 英語の学習を通して、言語や文化についての知識を身につけ、さまざまなテーマについての理解を深めることができるか。 |

| 学期      | 月       | 時数 | 学習項目             | 学習内容  | 重点（指導）目標  | 評価の観点  |   |   |   | 評価方法                                   |  |
|---------|---------|----|------------------|---|---|--|---|---|---|--|--|
|         |         |    |                  |   |   | 1  | 2 | 3 | 4 |  |  |
| 1<br>学期 | 4       | 1  | 初レクチャー           | 授業の内容説明等  | 授業の持ち物や評価方法、学習目標に関して学ぶ。   | ○  |   | ○ |   |  |  |
|         |         | 2  | 英語スピーチに関する説明     | 校内スピーチコンテストに向けた原稿作成・注意  | スピーチに作成に関する注意点を整理し、書き方を具体的に学習する。  | ○  |   | ○ |   | ・授業での取り組み                              |  |
|         |         | 3  | L1 英語の型で表現する     | トビラ写真を使った活動を通して、本課で学習する文法・機能表現をイメージする。<br>日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。  | ①英語の語順（文型）を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む。<br>②S+V、S+V+O、S+V+O+O、S+V+O+C、There V+S～の型を用いて書いたり話したりする。 | ○  | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・課題などの提出状況<br>・確認問題や文法テスト |  |
|         | 5       | 2  | L1 英語の型で表現する     | 例文ならびにその解説（Scope for Expression 含む）を読む。<br>例文の音声聞いて、音読練習（コース→パラレル）をする。<br>EXERCISESの題意を解く。<br>Let's Try! を使って表現活動をする。 | ①英語の語順（文型）を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む。<br>②S+V、S+V+O、S+V+O+O、S+V+O+C、There V+S～の型を用いて書いたり話したりする。 | ○  | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・課題などの提出状況<br>・確認問題や文法テスト |  |
|         |         | 4  | L2 さまざまな「時」を表現する | トビラ写真を使った活動を通して、本課で学習する文法・機能表現をイメージする。<br>日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。  | ①英語の時制を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む。<br>②現在時制、過去時制、未来を表す表現について、基本形、進行形、完了形を用いて書いたり話したりする。          | ○  | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・課題などの提出状況<br>・確認問題や文法テスト |  |
|         | 1学期中間考査 |    |                  |   |   |  |   |   |   |  |  |
|         | 6       | 3  | L2 さまざまな「時」を表現する | 例文ならびにその解説（Scope for Expression 含む）を読む。<br>例文の音声聞いて、音読練習（コース→パラレル）をする。<br>EXERCISESの題意を解く。<br>Let's Try! を使って表現活動をする。 | ①英語の時制を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む。<br>②現在時制、過去時制、未来を表す表現について、基本形、進行形、完了形を用いて書いたり話したりする。          | ○  | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・課題などの提出状況<br>・確認問題や文法テスト |  |
|         |         | 3  | L3 助動詞を使って表現する   | 1) トビラ写真を使った活動を通して、本課で学習する文法・機能表現をイメージする。<br>2) 日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。  | ①助動詞を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む。<br>②助動詞を用いて書いたり話したりする。<br>③助動詞に注意して読んだり聞いたりする。                  | ○  | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・課題などの提出状況<br>・確認問題や文法テスト |  |
|         |         | 7  | 3                | L3 助動詞を使って表現する  | 例文ならびにその解説（Scope for Expression 含む）を読む。<br>例文の音声聞いて、音読練習（コース→パラレル）をする。<br>EXERCISESの題意を解く。            | ①助動詞を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む。<br>②助動詞を用いて書いたり話したりする。<br>③助動詞に注意して読んだり聞いたりする。 | ○ | ○ | ○ | ○                                      | ・授業での取り組み<br>・課題などの提出状況<br>・確認問題や文法テスト |
|         | 1学期期末考査 |    |                  |   |   |  |   |   |   |  |  |

